

【板書事項】

どんな意味？

一 ここではきものをぬいでください

二 こんなにもつはいらぬ

漢字喜遊曲 吉野 弘

母は

舟の一族だろうか。

こころもち傾いているのは

どんな荷物を

積み過ぎてているせいか。

辛いの中の人知れぬ辛さ

そして時に

辛さを忘れても辛い。

何が満たされて辛いになり

何が足らなくて辛いのか

後略

【指導の流れ】

1 漢字を使うと意味が正しく伝わることに気付かせる。

「一」と「二」の各文にはそれぞれ二通りずつの意味があります。それぞれ、どんな意味ですか。」

C 「一」の文の意味は、脱ぐものが、

「着物」と「履きもの」の二通りの意味があると思います。「二」の文の意味は、荷物が「入らない」と「要らない」の二通りの意味があると思います。

2 漢字仮名交じり文の読みやすさに気付かせる。

「伝えたいことを誤解されないようにするにはどうすればよいですか。」

C 漢字を使うこと、または句読点を打つことで意味がはっきりします。

「その通りです。今日は漢字を使うと誤解されずに正しく伝わるということや漢字を正しく書かないと意味がずいぶん違って誤解されてしまうことについて勉強します。」

3 正しい漢字を書くことの大切さに築かせる。

「『漢字喜遊曲』という詩を音読してみましよう。『母』と『舟』、『辛い』と『辛さ』など、字形は似ていますが意味はずいぶん違いますね。相手に正しく伝えるためには、努めて正しい漢字を書く必要があります。」

【留意点】

1 漢字を正しく使うことによって意味が正しく伝わりやすくなることに気付かせる。

2 漢字で書いても平仮名で書いてもそれほど違いはないと思っている児童もいる。平仮名ばかりの文章の読みにくさや、そこから生じる誤解について確認する。そして、漢字仮名交じり文の読みやすさに気付かせ、漢字を適切に使うことの大切さを理解させる。

3 少しぐらい字形が整っていないかまわないと考えている児童がいるものである。確かに前後の文脈からその漢字を推測できることは少なくない。しかし、相手に正確に伝えるためには、努めて正しい点画で漢字を書く必要があることを上記の詩を通して、気付かせる。